

## 原料原産地表示制度に関する検討会

### ～日本ハムグループの事例～



平成28年4月27日

#### 危惧事項と対策案



#### 危惧事項

表示ミスが多発しないか

消費者へのコスト負担は

食品産業の国際競争力は

#### 対策案

日本の農作物を加工品に使うために

日本ブランドを世界に

留意事項(世界の反応)

## 表示ミスが多発しないか

2

## 日本ハムの原産地対応(ウェブで公開)



### 原料原産地

豚肉(アメリカ、カナダ、デンマーク、チリ、メキシコ、ポーランド、日本、ハンガリー、ドイツ、イタリア、スペイン)  
豚脂肪(カナダ、アメリカ、日本、メキシコ、ドイツ、スペイン、チリ、フランス、イタリア、オーストリア)

原産地は過去の使用実績をもとに主要製品のみ公開、  
産国は多岐にわたり日々変動している。

3

## 消費者へのコスト負担

4

相場変動の影響をダイレクトにうける

パッケージの切り替え費用が増加する

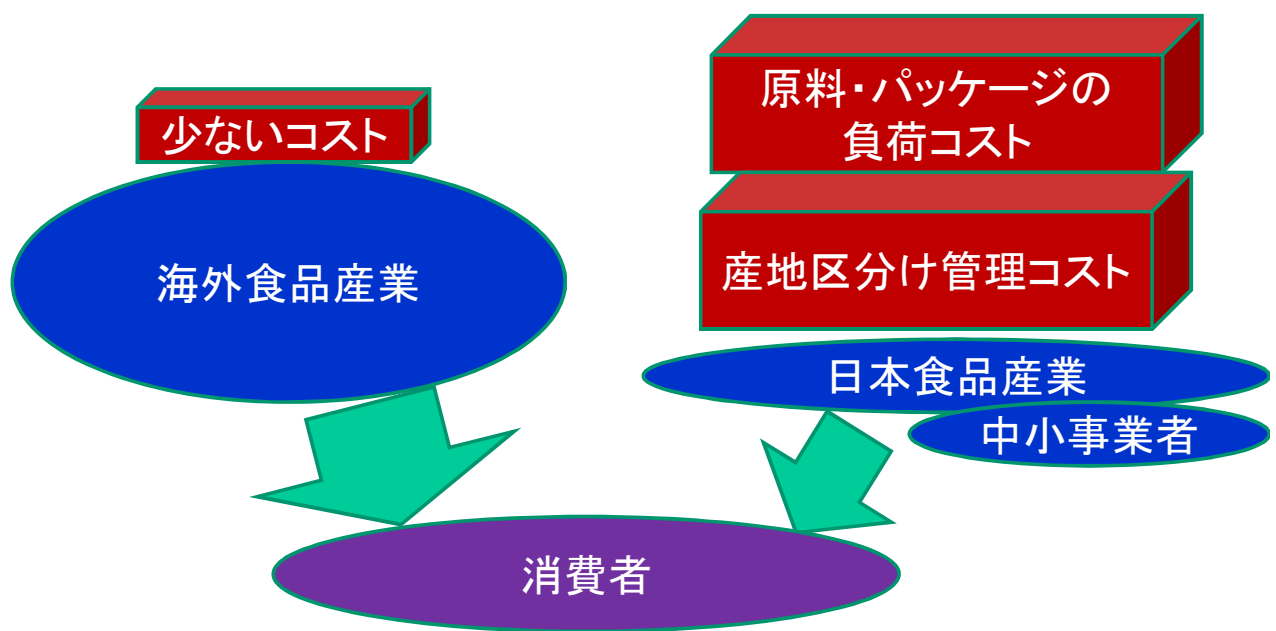
産地区分けの管理費用が発生する

恐らく、数%程度が価格転嫁される

5

## 食品産業の国際競争力は

## 日本食品産業への脅威とコスト



管理コストは、日本の食品産業に重くのしかかり、競争力を低下させる

日本の農作物を加工品に使うために

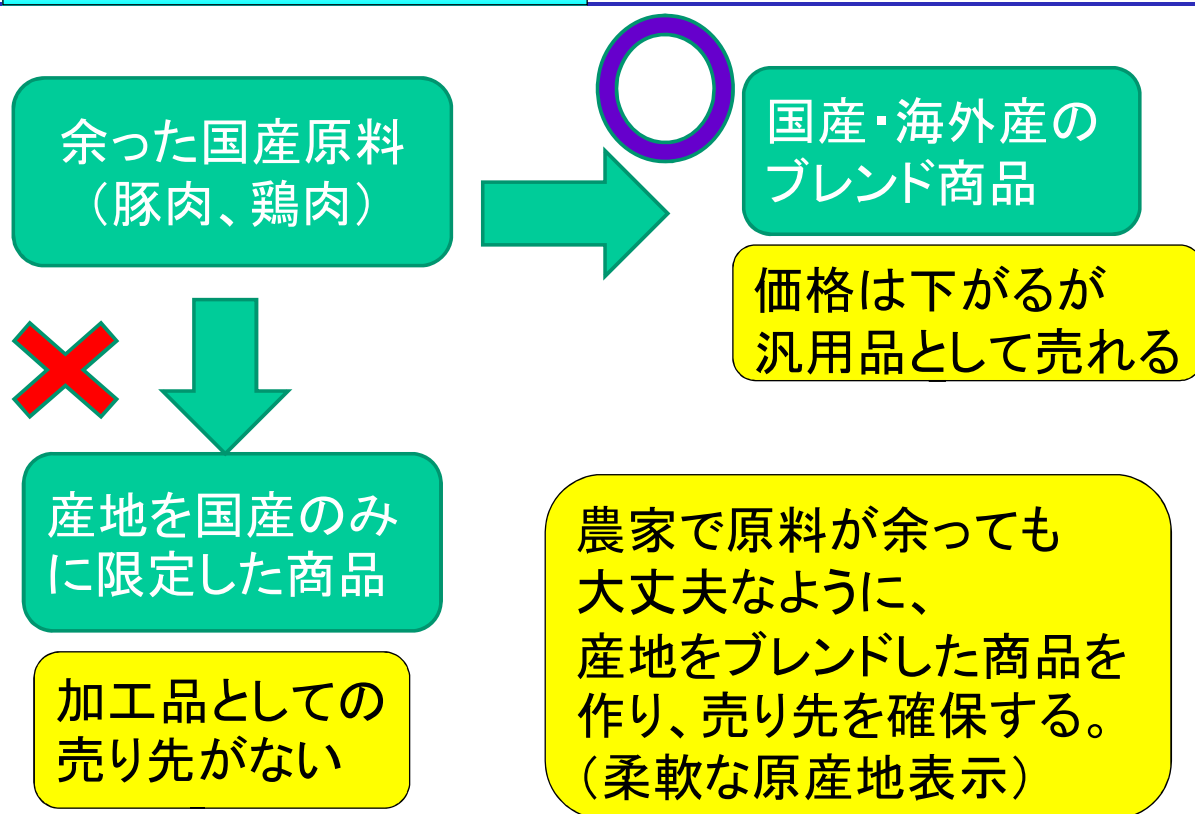
8

国産品を使用促進するには



国産原料をブランド化しては？

9



原産地の表示順や使用期間への配慮を

「国産、外国産」など実現させやすい表示を

特色ある原材料表示を推進していく

## 日本ブランドを世界に

12

### 案 ; GI(地理的表示保護) 制度の活用



パルマ生ハム  
GI(地理的表示保護) 商品  
(プロシュートディパルマ)



北海道肩ロース生ハム  
産地表示商品  
(プロシュートディ北海道?)

## 留意事項(世界の流れ)

## 表示ルールは国際整合されつつある

	原産地表示	アレルギー表示	添加物表示	添加物登録	HACCP
EU諸国 (含イギリス)	なし、 Codex基準	Codex基準	Codex基準	Codex基準	義務化 (EU規則)
北米	なし、 Codex基準	Codex基準	Codex基準	Codex基準	義務化へ (FSMA)
中国	なし、 Codex基準	Codex化	Codex基準	Codex基準	義務化へ (食品安全法)
東南アジア	なし、 Codex化	Codex化	Codex化	Codex化	義務化へ
日本	原産地表示 あり、 (韓国も)	そば表示、 大豆表示 等に違い	添加物は区 分、物質名 は不要	Codexと 整合が進め られている	任意

日本の食品表示は独自路線となっている



カナダ・メ  
キシコが  
提訴

- 輸入家畜に不利
- 正当な規制ではない

WTOは  
ルール違  
反と判断

- TBT協定第2・1条違反
- GATT3条4項違反

2015年12月  
米国食肉に  
関するCOOL  
廃止へ

NAFTAでの事例だがTPPでどう影響するか？

16

### <参考>

- FSMA(食品安全近代化法)
- Codex Alimentarius(国際食品規格委員会)
- COOL(原産国表示)  
(Country of Origin Labelling)
- TBT協定(貿易の技術的障壁協定)  
(Agreement on Technical Barriers to Trade)
- GATT(関税及び貿易に関する一般協定)
- NAFTA(北米自由貿易協定)
- TPP協定(環太平洋パートナーシップ協定)
- WTO(世界貿易機関)

17

ありがとうございました。